

第53回福島県高等学校バスケットボール選手権大会 H28.10.31

〈男子決勝戦評〉福島南—若松商業

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートしたが、開始から福島南の厳しいディフェンスに若松商業は苦しいシュートやターンオーバーを繰り返し、速攻で得点される展開となり1Q35-8で終了。

2Qも福島南は厳しいディフェンスから#5の速攻・#8の迫力ある1対1で得点を重ねる。一方、若松商業も#9が得点を返すが続かず、65-18で前半を終了した。

後半、若松商業は地元の大きな声援を背に、徐々にディフェンスに対応し#6のゴール下のシュート・#5の3Pで反撃に出るが、福島南のディフェンスの厳しさは変わらず、安定したリバウンドからの速攻で得点を重ね、3Q90-32で終了。

4Q、若松商業は2-2-1ゾーンプレスにディフェンスを変え懸命にプレーしたが、試合の流れを大きく変えることはできず、104-44で福島南が優勝を決めた。

第53回福島県高等学校バスケットボール選手権大会 H28.10.31

〈女子決勝戦評〉福島西—郡山商業

1Q 福島西はマンツーマン、郡山商業はゾーンでゲームがスタートする。郡商は序盤ゾーンとインサイドトラップで福西の得意なアップテンポなオフェンスをさせないことに成功する。オフェンスでは郡商#7のオフェンスリバウンドからシュートチャンスを作り、#5面川の連続3ポイントを沈め、直後にディフェンスからのブレイクで均衡を破ると、福西はたまらずタイムアウト。しかしタイムアウト明けすぐに郡商#12の3ポイントが決める。福西は#12を投入し、プレッシャーを強め、スティールからブレイクで得点し、悪い流れを断ち切ることに成功、郡商7点リードの10-17で1Q終了。

2Qに入り、郡商#4のスリーポイントで始まり、郡商優勢でゲームが進むかと思われたが、#12の3ポイント#7のバスケットカウント、#8の3ポイントで福西は良い流れを作り出す。23-26の3点リードで郡商が折り返す。

3Q、福西#5のドライブからスタートし、福西は1点差に戻す。3Qに強さを発揮する福西が巻き上げを図るが、#5、#7のインサイドのオフェンスを、郡商は堅いディフェンスで防ぎ、#12の連続得点で一気にスパークする。それに対し福西はゾンプレスでターンオーバーを誘い、ブレイクから巻き返しを図る。これに対し郡商は#5、#7のピック&ロールから膠着状態から抜け出し、郡商#9のジャンパーで得点を加え、31-40と突き離し3Qを終える。

4Qになっても郡商はディフェンスで流れを渡さず、#7のリバウンド、#9の連続3ポイントで再び突き放し、郡山商業がライバル対決を制した。リバウンド制する者はゲームを制するを体現した好ゲームであった。